

科目名 (Eng)		産業財産権							
担当教員		小松道男							
対象学年等	専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
	各専攻共通専門 関連		1	前期	必修	2	30	関連	A
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(C-1), (C-3), (C-4)								
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3)								
	JABEE基準1(1)との対応：(d)-(2)-d, (h)								
授業の概要と方針		技術者及び研究者として活用できる知的所有権制の知識を得るため、実務的な内容を解説する。							
到達目標		①特許制度、実用新案制度、意匠制度の活用方法を正確に理解できる。 ②商標制度、不正競争防止法、著作権法、条約の活用方法を正確に理解できる。							
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				準備学習		
前期	1	知的所有権制度の改正動向	産業財産権制度の法改正内容、国際動向				教科書目次を概読すること。		
	2	特許制度の活用	特許制度を活用した企業戦略、発明者の戦略				特許制度について本科学習内容をレビューしておく。		
	3	特許出願の手続き	特許出願の詳細な手続き				特許出願について本科学習内容をレビューしておく。		
	4	出願審査請求と審査結果への対応	出願後の中間手続き				中間手続きについて本科学習内容をレビューしておく。		
	5	特許権の活用とライセンス	特許権の権利行使、実施権許諾、契約				特許権の権利行使と実施権についてレビューしておく。		
	6	無効審判制度、権利侵害訴訟	無効審判、権利侵害訴訟の手続きと効果				無効審判制度についてレビューしておく。		
	7	これまでの講義内容のレビュー	理解不十分な箇所の再確認				これまでの講義内容を振り返る。		
	8	実用新案登録出願の手続き、権利活用	実用新案登録出願の手続き、権利行使、実施許諾				実用新案制度について本科学習内容をレビューしておく。		
	9	意匠登録出願の手続き、権利活用	意匠登録出願の手続き、権利行使、実施許諾				意匠制度について本科学習内容をレビューしておく。		
	10	商標登録出願の手続き、権利活用	商標登録出願の手続き、権利行使、使用許諾				商標制度について本科学習内容をレビューしておく。		
	11	商標制度における審判制度	商標権をめぐる各種審判制度				商標の審判制度について本科学習内容をレビューしておく。		
	12	不正競争防止法の活用	不正競争の種類、営業秘密、法制度				不正競争防止法について本科学習内容をレビューしておく。		
	13	著作権制度の活用	著作権、権利行使と使用許諾、法制度				著作権について本科学習内容をレビューしておく。		
	14	特許制度をめぐる国際条約	条約の最新動向の理解				条約について本科学習内容をレビューしておく。		
	15	学習したことの総括	前期期末試験解答用紙の返却と解説				前期期末試験の答案の不明箇所再考しておく。		
試験について		③中間試験は実施しない。期末試験は100分の試験を実施する。							
評価方法		定期試験の成績を80%、小テストや課題の総点を20%として総合的に評価する。							
教科書		知っておきたい特許法（17訂版）、発行：朝陽会 編著：工業所有権法研究グループ							

参考書	産業財産権標準テキスト（経済産業省特許庁企画。（独）工業所有権情報・研修館発行）
関連科目	
履修上の注意	授業における講義内容を重視すること。

科目名 (Eng)								
担当教員								
対象学年等	学科・専攻・学年	授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
		前後期 通年	必修 選択					
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：							
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：							
	JABEE基準1(1)との対応：				JABEE 必修科目	選択科目	要件科目	
授業の概要と方針								
到達目標								

授業計画			
週	授業項目	理解すべき内容	準備学習
後期	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
試験について			
評価方法			
教科書			

参考書	
関連科目	
履修上の注意	